

第4学年1組 国語科学習指導案

日 時：平成30年11月30日（金）

場 所：浜田市立国府小学校 4年1組教室

授業者：教 諭 三宅 舞

1 単元名 「くらしの中の和と洋ポスター」を作って、友だちに紹介しよう

2 教材名 共通学習材・・・ 「くらしの中の和と洋」 東京書籍4年下
「再発見！くらしのなかの伝統文化」市川寛明（ポプラ社）
「日本と世界のくらし」野林厚志（汐文社）他

3 学 級 国府小学校 4年1組 男子12名 女子10名 計22名

4 単元づくりの構想

本単元で付けたい力

- ・何をどのように比べているか読み取る力
- ・自分の考えを相手に伝えるために、引用を正しく使う力

言語活動とその特徴

本単元では、衣食住から選んだ事柄（例：はしとフォーク）について調べ、「くらしの中の和と洋ポスター」にまとめて紹介するという言語活動を設定する。このポスターは、ペアで作成し、はしを調べる児童とフォークを調べる児童で役割を分担し情報を集める。それぞれが本やインタビューによって、その良さや特徴について調べ情報カードを作成する。もち寄ったカードをペアで分類し、対比している観点を見つけていくことにより、本単元でねらう、「何をどのように比べているかを読み取る力」が実現できると考える。この活動を通して、適切な情報を本から書き抜いたり、インタビューからメモしたりする力も必要になる。また、引用や出典のやり方にも留意しながらポスターを作成していくことが大切で、これは、「自分の考えを相手に伝えるために、引用を正しく使う力」につながると考える。

教材の特質

共通学習材は、くらしの中の「住」における和と洋の違いや良さを分かりやすく説明した文章であり、全体を5つのまとまりに分けることができる。まとまり②で和室と洋室の大きな違いについて述べ、それを受けて、まとまり③で過ごし方、まとまり④で使い方という観点から和室と洋室の具体的な違いが説明されている。そして、まとまり⑤では、和室と洋室には、それぞれの良さがあるとまとめられている。また、「一方」や「～に対して」など、比べるときに使う言葉が提示されており、つなぐ言葉にも着目して和室と洋室の対比構造をつかむことができるようになっている。このように、和と洋について何がどのように対比してあるのか児童が考えやすくなっている教材である。

本単元に関わる子どもの実態

<個人情報保護のため省略>

6 研究の重点とのかかわり

(1) 視点1 言葉に向き合い、主体的・対話的に学ぶ授業づくり

カードを使って、対比を見つける活動

和室と洋室のちがいや良さが書いてあるカードを分類し、分類した仲間に名前をつける活動を行う。ここでいう分類するとは、対比しているカードを見つけて丸で囲む活動を想定している。丸で囲んだカードに名前を付けることで、どういう観点で対比しているのかということにも着目できると考える。この活動を通して、何のことについて書かれている情報なのかを意識しながら、カードの情報を比べて読むことができ、共通学習材の対比構造に気付くことができると考える。また、カードを実際に操作しながら考えることによって、児童が自分の考えを整理しやすくなり、活発な対話が生まれると考える。

『引用ナビ』の活用

児童にとって、はじめての引用の学習である。そこで、引用の手順を示した『引用ナビ』を活用する。これは、授業で学んだ引用の方法を書き込みながら作成していく。引用のやり方が分からないときや困ったときなどに、『引用ナビ』に立ち返り、児童が自分自身の力で引用の活動に取り組むことができるようにする。引用に必要な手順（見つける、書き抜く、「」, 出典）を3年時に活用した『要約ナビ』と同様に、「忍法〇〇のじゅつ」というように示し、児童の引用への関心、意欲を高められるように工夫する。

(2) 視点2 言葉の力を積み重ね、学ぶ集団づくり

言葉の蓄積

3年時から学んできた接続語をつなぐ言葉として書きためて教室に掲示し、さまざまな学習で接続語を意識して文章を書いたり読んだりすることに取り組んでいる。さらに、本単元においては、「その一方で」や「それに対して」などの対比するときに使う接続語が登場する。このような接続語にも意識しながら、段落相互の対比関係を考えられるようにしたい。また、本教材はくらしの中の衣食住における「和」と「洋」について取り上げた文章である。そこで、毎日の家庭学習で和洋調べを行い、児童から出てきた和と洋のものを書きため教室に掲示している。これにより、児童が「和」と「洋」とはどんなものであるのかというイメージを持つことができるようにしたい。

(3) 視点3 言葉の力を育てる環境づくり

図書館活用の推進

児童の「知りたい」「伝えたい」という思いを重視し、主体的に課題解決できるように、児童が手に取りやすいワークスペースに図書コーナーを作る。また、児童が共通学習材での学びを生かし、くらしの中の和と洋を対比してポスター作りができるよう一冊の中に和と洋の両方の情報が書いてある図書を中心に選ぶようにした。

7 単元の指導目標

○複数の情報を比較・分類したり、自分の考えと関係づけて引用したりすることができる。

【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項 ○情報の整理 イ】

○対比構造に着目し、段落相互の関係をとらえて文章を読むことができる。

【思考力、判断力、表現力等 C読むこと 構造と内容の把握 ア】

○くらしの中にある和と洋について興味をもち、進んで資料を読んでポスターを作ったり、自分の考えを表現したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

8 単元の評価規準

知識及び技能 【情報の整理 (イ)】	思考力, 判断力, 表現力 【C読むこと 構造と内容の把握 (ア)】	主体的に学習に取り組む態度
・複数の情報を比較・分類したり, 自分の考えの理由や支えになる部分を正しく引用したりしている。	・対比構造に着目し, 段落相互の関係をとらえて文章を読んでいる。	・ポスター作りに意欲的に取り組み, 自分の考えと友だちの考えを比べて和と洋の良さを見つけようとしている。

9 単元の指導計画 (全12時間扱い)

次	時	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 (評価方法)
事前		○ 学校図書館, 浜田市立図書館を活用してワークスペースに関連図書コーナーをつくり, 関心を高めておく。	
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・『くらしの中の和と洋ポスター』について知る。 ・単元の流れを確かめ, 学習の見通しを持つ。 ・並行読書をし, 調べたいものを集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しが明確にもてるように, 視覚的に捉えやすい掲示の仕方を工夫する。 ・教師が作成したポスターを提示し, ポスターのイメージをもてるようにする。 ◇これからの活動に見通しをもち, 必要な情報を見つけるために本を読もうとしている。 【学びに向かう力, 人間性等】(本を読む姿)
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ・共通学習材を「はじめ」「中」「終わり」の3つに分け, 文章全体の構成をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通学習材の全文シートを用いることで, 文章全体を説明文の家でとらえることができるようにする。 ◇説明のまとまりを考えながら, 文章全体を「はじめ」「中」「終わり」に分けている。 【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握(ア)】(説明文の家)
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・共通学習材の「はじめ」と「終わり」の見出しを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しを付ける際には, 共通学習材の中から大事な言葉を選んでから, 見出しを考えるように伝える。 ◇「はじめ」と「終わり」に書かれていることを読み取り, 見出しを付けている。 【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握(ア)】(説明文の家)
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」に書かれている和室と洋室の違いや良さを, 対比構造に着目して整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対比に着目できるよう, カードを仲間分けする活動を行う。 ◇対比して説明されていることを読み取り, その述べ方の良さに気付いている。 【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握(ア)】(ワークシート)
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落同士の繋がりをイメージしやすくするために, 第3時で作成した説明文の家を活用する。

			<p>◇対比構造に着目し，段落相互の関係をとらえて文章を読んでいる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握 (ア)】(ワークシート)</p> <p>・引用の手順やきまりを理解できるようにするために，引用ナビを作成する。</p> <p>◇引用の仕方について理解している。</p> <p>【知識・技能 O情報の整理 イ】(ワークシート)</p> <p>・主体的に引用できるよう，前時に作成した引用ナビを手元に置いて活動する。</p> <p>◇引用を使って，自分の考えを文章にまとめている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握 (ア)】(ワークシート)</p>
	6	・引用について知る。	
	7	・和室の良さ，または，洋室の良さについての自分の考えを，引用を用いて文章にまとめる。	
	8	『くらしの中の和と洋ポスター』作り	
	9	・ペアで決めたものについて，本やインタビューを使って情報を集め，対比している観点を見つける。	<p>・対比を見つけやすくするために，ふせんを動かしながら活動する。</p> <p>◇集めた情報を比べて，対比している観点を見つけている。</p> <p>【知識・技能 O情報の整理 イ】(ワークシート)</p>
	10	・対比している観点で，調べたものについての良さを紹介する文章を書く。	<p>◇引用を使いながら，対比している観点について自分の考えを文章にまとめている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握 (ア)】(ポスター)</p>
	11	・ペアで文章を比べて読み，感想を書き，ポスターを完成させる。	<p>◇自分の考えと友だちの考えを比べて，和と洋のそれぞれの良さを読み取っている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握 (ア)】(ポスター，行動観察)</p>
第三次	12	・ポスターを紹介し，感想を伝え合う。	<p>・自由に友だちの作品を見る時間を設定し，たくさんの友だちの作品にふれられるようにする。</p> <p>◇友だちの作品のよいところや，自分の作品に生かしたいところなどを積極的に友だちに伝えている。【学びに向かう力，人間性等】(行動観察，付箋)</p>
事後		○家にもち帰り，家の人に紹介し，コメントを書いてもらう。	

10 本時の指導（4／12時間目）

（1）本時のねらい

和室と洋室の違いや良さについて読み取り，対比を使った述べ方の良さに気付くことができる。

【思考力，判断力，表現力等 C読むこと 構造と内容の把握 ア】

（2）本時の展開

学習活動	時間	・指導上の留意点 ◇評価方法
1. カードに書かれていることを確認し，和室と洋室に分ける。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本時では，説明文の家の「中」の文章について考えることを伝え，学習の見通しをもてるようにする。 ・和室は緑，洋室はピンクのカードに色分けしておくことで，カードを和室と洋室に分けやすいようにする。 ・「たたみ」「いす」など，和室と洋室に分けた理由となる言葉を意識できるようにする。
2. 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">カードを小部屋に分けて，小部屋に名前をつけよう。</div>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを提示する。
3. カードを分け，小部屋の名前を考える。 (個人→ペア) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">同じ小部屋に入るカードに分けて丸で囲みましょう。名前もつけましょう。</div>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・全文シートを見ながら，考えてもよいことを伝える。 ・小部屋に名前をつけることによって，どういう観点で分けたのか意識できるようにする。 ・対比されているカードを見つけることに困っている児童には，つなぐ言葉（「それに対して」，「一方」）に着目するように声を掛ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">ペアで対話（理由・根拠）</div> <p>◇対比しているカードを見つけ，見出しをつけている。【思考力・判断力・表現力等 C読む能力 構造と内容の把握（ア）】（ワークシート）</p>
4. 全体で考えを交流する。（全体） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">ゆかの仕上げ方と家具のちがい</div> 和室…ゆかにたたみをしいて仕上げ，あまり家具を置かない 洋室…板をはったり，カーペットをしいたりして仕上げ，部屋の目的に合わせた家具を置く <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">座り方のちがい</div> 和室…畳の上に直接座る 洋室…いすに腰掛けて座る	17	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えた分け方を板書し，児童の考えを比べながら意見を交流できるようにする。 ・なぜ，その分け方をしたのか理由を聞くことで，同じ観点で比べることが大切であることを意識づける。 ・接続語の役割にも着目できるように，「それに対して」や「一方」などのつなぐ言葉をヒントに対比を見つけた児童の意見を取り上げる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">みんなで対話（理由・根拠）</div>

